

令和6年度「学区防災のありかたを考える」特別委員会  
第4回 議事録 2024/9/1

日時 令和6年9月1日(日)18:00～19:20

場所 志津南まちづくりセンター 会議室

出席者(敬称略)

委員長 四方道治	委員 北村昌彦	
委員 白瀧 明	委員 大脇正美	委員 高田篤司
サポートメンバー 高岡昭義、佐藤恵子		

猪口俊輔 委員は、都合により欠席

以下議事内容

1. 自助に対する意識づけのための施策

(1) 自助に対する住民への問いかけ、アンケート

『地震災害を念頭に、住民一人一人に対する最低限の内容(A4の紙1枚、3～4項目程度)をまとめて、それに対する意識を問う、という形で学区住民へのアンケートを実施してはどうか』に対し、委員長から具体内容を提案した。(本議事録のP2～P3参照)

→(議論の概要)

提案された内容は、各委員のイメージと大筋一致。

各委員から出た意見は以下の通り

- ・大規模地震がいつ起こってもおかしくないとの認識をまず問いかけることが必要
- ・地震直後の対応に、電気の遮断を加えるべきではないか
- ・アンケートの項目に、回答者の年齢、性別、居住地などの情報も含めてはどうか
- ・本アンケートを通じて、志津南学区の特性が浮かび上がるようにできたらよい
- ・家具固定が必要だとしても、「どうしたらよいのか」となるのが実態ではないか。何かアプローチできればよいのだが。考える必要がある。

(結論)

上記意見の検討反映とアンケートの具体的な実施方法の検討(SNS活用など)を含め、全住民を対象とするアンケートについては、もう少し時間をかけて検討する。

志津南子どもフェスタ(10/27)で、防災ブースを予定しており、その中で来場者対象にこのアンケートを試行することを考える。

(2) 10/27 子どもフェスタへの防災関連ブースを設ける件

高岡さん(サポートメンバー)に動いていただき、草津市危機管理課による出前講座の形で依頼済み。本委員会のメンバーがブースの運営に携わる。

防災意識の高揚を目的とするが、具体内容については、「DIG訓練」(災害図上訓練)を含め、危機管理課で検討いただくようお願いしている。(危機管理課との打ち合わせ必要)

上記(1)のアンケート試行を含め、次回委員会(10/6(日))で内容確定させる。

2. 独自マニュアルの整備について(次回以降へ向け)

今までの議論に基づき、以下のマニュアルを整備していくことを委員全員で確認した

- ・各町内会レベルのマニュアルのひな型
  - ・避難所開設・運営の独自マニュアル
3. 前線基地である玉川小学校の防災倉庫(耐震機能付き防火水槽含む)の確認実施  
危機管理課の対応待ち
4. 県の研修会(地区防災計画策定アドバイザー育成研修会)の参加報告  
8月18日に第1回研修会に参加(四方)。内容・感想をメンバーと共有した。
5. 高田委員より、GPSからひずみを算出する分析手法による地震リスクの評価に関する資料を提示いただいた。我々の地域がどういうリスクを有しているかのヒントになる情報。

▽次回予定

・次回(第5回)委員会 10月6日(日)18:00～ 志津南まちづくりセンター

以上

(志津南学区全戸配布)

令和6年9月〇〇日

## 大規模地震など災害への備え「自助」の観点より

志津南「学区防災を考える」特別委員会  
委員長 四方 道治

「学区防災を考える」特別委員会では、主に地震災害を念頭に、共助・自助の議論を行なっています。

実際に災害が起きた時に、出来るだけ被害を少なくするために、住民の方一人一人が、「自助」の観点から最低限持っておいていただきたい心構えと対策について、整理しました。是非、ご一読いただき、災害への備えに役立てていただくようお願いいたします。

### ① 自分（家族）の命は自分（家族）で守る

発災時には負傷せずに生き残ること、これが最も大切

- ・地震時：まず身の安全
- ・地震直後：落ち着いて行動（火の元確認、出口確保）
- ・地震後：我が家の安全確認後、近隣と安否互いに確認、  
必要に応じた避難行動・助けあい

（まず一次集合場所へ、その後避難場所へ、状況次第で在宅避難も）

### ② 日頃の備え

自分（家族）を守るために最低限必要なこと

- ・家具類の転倒・落下・移動防止対策
- ・けがの防止対策

（ガラスなどの飛散防止、懐中電灯・スリッパをすぐに使える場所に置く）

備蓄（以下は最低限）

- ・飲料水（一人1日3リットル目安に、3日分）
- ・食品

（ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、3日分）

### ③ ご近所とのつながりを大切に

挨拶など、普段のお付き合いが大事。

ご近所とのつながりは、災害時の「助けあい」に直結

町内会(自治会)の諸行事は、すべて防災対策であると言っても過言ではなく、積極的に関わりを

### ④ 家族で話し合い

災害時に帰宅困難や離れ離れになった場合の家族間の安否確認方法、集合場所  
家族で避難場所や避難経路を確認しておく

委員長からの 提案

アンケート（または自己チェック）

① 自分（家族）の命は自分（家族）で守る

- 十分認識できている
- 大体認識できている
- 認識は不十分

認識不十分と思われる場合、具体的にどのような点が不安かを記入

② 日頃の備え

- 十分できている
- 大体できている
- 不十分

不十分と思われる場合、具体的にどのような点が不十分かを記入

③ ご近所とのつながりを大切に

- 十分認識できている
- 大体認識できている
- 認識は不十分

認識不十分と思われる場合、具体的にどのような点が不安かを記入

④ 家族で話し合い

- 十分できている
- 大体できている
- 不十分

不十分と思われる場合、具体的にどのような点が不十分かを記入